

モンゴルにおけるKobresia草原の植生地理学的研究

研究期間：2024年6月 ～ 2025年3月



地域環境科学部地域創成科学科 鈴木 康平 助教
生態学および環境学関連
✉ks208205@nodai.ac.jp

キーワード

- ・乾燥地
- ・気候変動
- ・生物多様性
- ・伝統知



研究の背景と目的

モンゴルの高山地域にはKobresia属の植物が優占する草原（以下、Kobresia草原）が分布している。このKobresia草原は、現地の遊牧民たちの生活の場として、また世界の生物多様性保持の場として重要である。しかし近年、過利用による劣化や将来的な気候変動による縮小が危惧されており、早急な対策が求められている。本プロジェクトでは、Kobresia草原の分布条件や分布の変遷、地域的な種組成の特徴を明らかにする。それらの成果を踏まえて、Kobresia草原の今後の植生管理に貢献することを目指す。

展開可能性（他領域・社会にどのようなインパクトを与えるか）

モンゴルにおける生物多様性の保全や遊牧における持続的草原利用に貢献することが期待できる。

シーズの特徴

- 特徴1 Kobresia草原の地域ごとの植物種組成的な特徴を示せる。
特徴2 将来的な気候変動が植生を及ぼす影響を評価する上でも重要な知見となる。
特徴3

PR・マッチングに関する要望

関連情報（URL） <https://db.s.nodai.ac.jp/view?l=ja&u=100001653&sm=field&sl=ja&sp=21>
研究業績・研究室（URL）

